

# 機械学習によるホタルイカ身投げ量予測およびWeb情報公開システムの開発

レネ研究室 | 2120006 | 海野 幸也

## 背景と目的

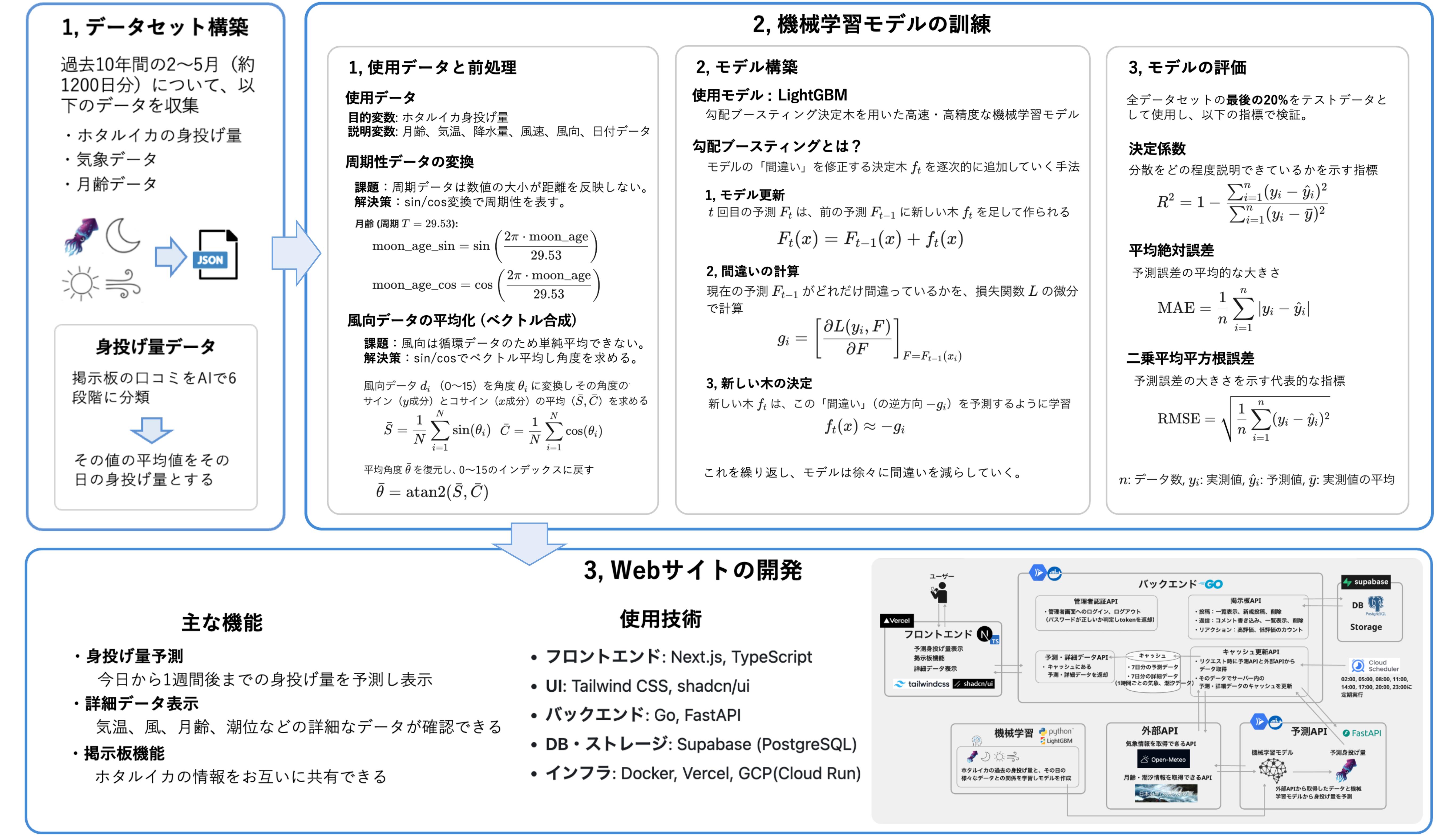
- ホタルイカの「身投げ」は、春（2~5月）に富山湾の海岸へ大量に押し寄せる産卵行動。
- 幻想的な光景を生み、地域の文化として親しまれている。
- 現在の情報源は、個人の経験則や掲示板サイトが中心。
- データに基づく高精度な予測システムはまだ存在しない。

本研究の目的は、具体的には、以下の2点を達成することを目的とする。

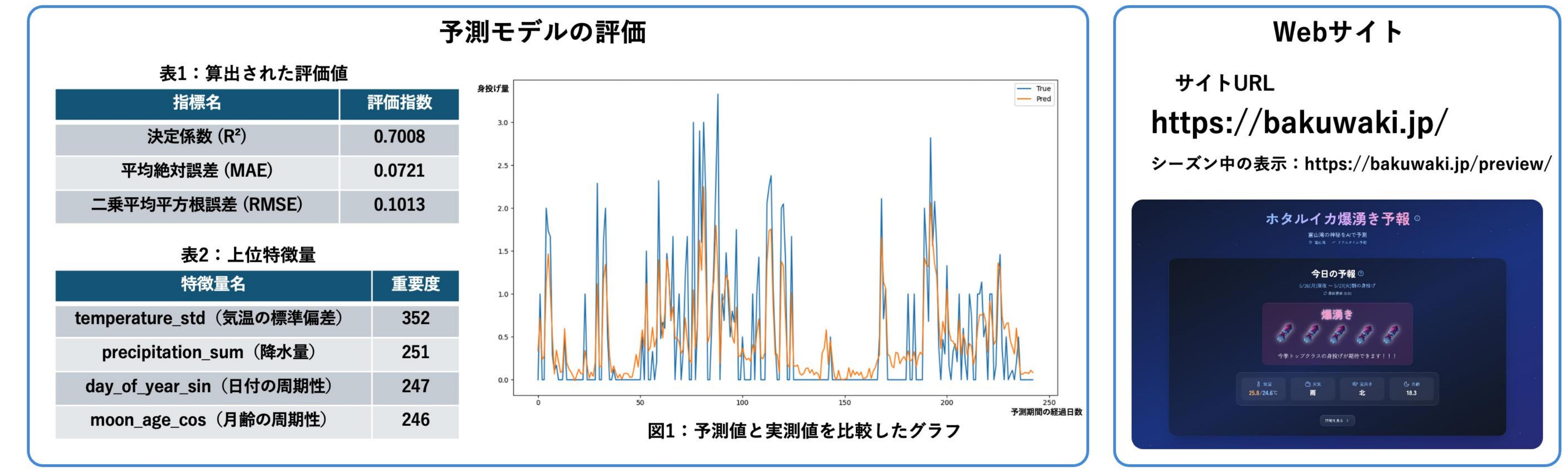
- 過去の身投げ実績と気象・潮汐データを用いて、機械学習で身投げ量を予測するモデルを構築する。
- 予測モデルを組み込んだAPIや掲示板機能を備えたWebアプリを開発し、ホタルイカ掬いの利便性を高める。

## 研究方法

本研究は、「1. データセット構築」「2. 機械学習モデル訓練」「3. Webサイトの開発」の3フェーズで実施した。



## 結果と考察



## 今後の予定

- 予測精度の向上: 海岸ごとの位置情報を特徴量として加え、より空間解像度の高い局所的な予測モデルを構築する。また、より高精度な気象・海象データを導入する。
- Webサイトの機能拡充: オフシーズンでもユーザーが訪れる価値のあるコンテンツ(例: 過去の身投げデータの統計・可視化ページなど)を追加し、サイトの継続的な利用を促進する。

## ⑧参考文献 (任意)